

“脂肪肝は見た目の体型や血液検査だけではわかりません”

今回は健診センター長の、高橋龍太郎医師に脂肪肝についての話を伺いました。



▲高橋龍太郎医師

当健診センターは、受診される方の利便性の向上と健康診断の質的な向上を目指し、平成27年5月今治圏域では初めての病院併設型として開設されました。

一般的な人間ドックの検査は全てセンター内で受けられます。そのほかに肺がんCT、大腸がん、PET-CTなど、生活習慣病のリスクを含むがんドックや脳ドック、レディースドック

クなどがあります。肺がん検診ではマルチスライスCTを用いて、直径数ミリの小さな早期肺がんを発見することが可能です。自覚症状はなく、一見健康と思われる方でも、思わぬ病気が潜んでいることがありますし、すでに生活習慣病が始まっていることもあります。

昨今コロナ禍で、ホームステイやテレワークなどの影響により食生活の変化や運動不足など、生活習慣病のリスク因子は増えています。この2年間に健康診断

で腹部超音波検査を受けられた方のうち、驚いたことに4割超が脂肪肝と診断され、しかも中等度・高度がその半数近くを占めていました。脂肪が肝臓に蓄積すると非アルコール性脂肪肝炎(NASH)に移行し、長年の経過のうちに肝硬変や肝がんに行き着く恐れがあります。

脂肪肝は食事や運動で生活習慣を見直すのが一番の治療です。特に有酸素運動や筋力トレーニングは大切で筋肉から分泌されるマイオカインには肝臓の脂

肪代謝を促進して脂肪改善効果があることがわかってきました。健康不安がないと思われている方も一度、腹部超音波検査を受けられてはいかがでしょうか。

社会福祉法人



恩賜財団 済生会今治病院

健診センター

今治市喜田村7丁目1番6号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp/>

代表

☎0898-47-2500

健診センター

☎0898-47-6034

